令和７年度小・中学校教育課程研究協議会における改善の重点一覧

別紙２

各教科等全体における改善の重点　　　○ 単元や題材などで育成を目指す資質・能力の明確化と単元の指導計画の作成　　○ 具体的な評価規準に基づく児童生徒の学習状況の確実な見取りと手立ての工夫

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 小学校 | | 中学校 | |
| 総則 | 学校の教育目標の実現に向け、カリキュラム・マネジメントの三つの側面を通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に学校の教育活動の質の向上を図っていくこと。 | 総則 | 学校の教育目標の実現に向け、カリキュラム・マネジメントの三つの側面を通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に学校の教育活動の質の向上を図っていくこと。 |
| 国語 | 1. 単元で育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、資質・能力を育成するための言語活動を位置付けた単元を構想すること。なお、単元で育成を目指す資質・能力については、児童と共有し、学習に対する目標をもたせたり目的を意識させたりすること。 2. 単元における評価方法（評価材）を工夫するとともに、各時間について、実際の学習活動を踏まえ、「Ｂ（概ね満足できる状況）と判断する児童の姿」及び「Ｃ（努力を要する状況）と判断する児童への手立て」を具体的に想定すること。 | 国語 | 1. 単元で育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、資質・能力を育成するための言語活動を位置付けた単元を構想すること。なお、単元で育成を目指す資質・能力については、生徒と共有し、学習に対する目標をもたせたり目的を意識させたりすること。 2. 単元における評価方法（評価材）を工夫するとともに、各時間について、実際の学習活動を踏まえ、「Ｂ（概ね満足できる状況）と判断する生徒の姿」及び「Ｃ（努力を要する状況）と判断する生徒への手立て」を具体的に想定すること。 |
| 社会 | 1. 単元で育成を目指す資質・能力を明確にし、課題を追究したり解決したりする活動を重視した単元の指導計画を作成すること。 2. 単元及び各時間の評価規準を設定し、児童の学習状況を的確に把握することで授業改善や資質・能力の育成につなげること。 | 社会 | 1. 単元で育成を目指す資質・能力を明確にし、課題を追究したり解決したりする活動を重視した単元の指導計画を作成すること。 2. 単元及び各時間の評価規準を設定し、生徒の学習状況を的確に把握することで授業改善や資質・能力の育成につなげること。 |
| 算数 | 1. 単元で育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、資質・能力を育成するための数学的活動を位置付けた単元を構想すること。なお、数学的活動における算数・数学の問題発見・解決の過程の充実を図ること。 2. 単元における評価方法や評価場面を工夫するとともに、実際の学習活動を踏まえ、「Bと判断する状況」の例及び「Cと判断する状況への手立て」の例を想定すること。。 | 数学 | 1. 単元で育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、資質・能力を育成するための数学的活動を位置付けた単元を構想すること。なお、数学的活動における算数・数学の問題発見・解決の過程の充実を図ること。 2. 単元における評価方法や評価場面を工夫するとともに、実際の学習活動を踏まえ、「Bと判断する状況」の例及び「Cと判断する状況への手立て」の例を想定すること。 |
| 理科 | 1. 「問題解決の過程」を踏まえて、単元及び１単位時間で育成を目指す資質・能力を明確に設定し、単元の指導と評価の計画を作成すること。 2. 単元を見通した指導と評価の計画をもとに児童の学習状況を適切に見取り、指導の改善や資質・能力の育成につなげること。 | 理科 | 1. 「探究の過程」を踏まえて、単元及び１単位時間で育成を目指す資質・能力を明確に設定し、単元の指導と評価の計画を作成すること。 2. 単元を見通した指導と評価の計画をもとに生徒の学習状況を適切に見取り、指導の改善や資質・能力の育成につなげること。 |
| 生活 | 1. 気付いたことを基に考えることができるようにするために、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を行うようにすること。 2. 単元における評価の方法を工夫し、授業改善に生かすようにすること。 |  |  |
| 音楽 | 音楽科で「目指す資質・能力」の育成に向けて、   1. 「題材づくり」　…　題材の指導計画（評価の計画を含む）を作成するとともに、学習評価を指導の改善につなげること。 2. 「主体的・対話的で深い学び」　…　児童が、音楽的な見方・考え方を働かせ、他者と協働しながら、思考、判断し、表現する一連の過程を大切にした学習の充実を図ること。 | 音楽 | 音楽科で「目指す資質・能力」の育成に向けて、   1. 「題材づくり」　…　題材の指導計画（評価の計画を含む）を作成するとともに、学習評価を指導の改善につなげること。 2. 「主体的・対話的で深い学び」　…　生徒が、音楽的な見方・考え方を働かせ、他者と協働しながら、思考、判断し、表現する一連の過程を大切にした学習の充実を図ること。 |
| 図画工作 | 1. 題材を通して育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、題材のねらいを児童と共有し、〔共通事項〕を造形的な視点と関連させ「A表現」及び「B鑑賞」の学習に位置付けること。 2. 学習活動や表現方法に幅をもたせ、学びの過程を重視した指導計画を作成し、題材における具体的な評価規準、指導事項等の整合性を図ること。 | 美術 | 1. 題材を通して育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、題材のねらいを生徒と共有し、〔共通事項〕を造形的な視点と関連させ「A表現」及び「B鑑賞」の学習に位置付けること。 2. 生徒の思考におけるつまずきを予め想定したうえで、学びの過程を重視した指導計画を作成し、題材における具体的な評価規準、指導事項等の整合性を図ること。 |
| 家庭 | 1. 題材を通して育成を目指す資質・能力を明確にし、２学年間を見通した題材の指導計画ならびに評価計画を作成すること。 2. 児童の実態に応じた内容や活動を準備し、生活や社会の中から問題を見いだして、児童にとって必要感のある課題を設定し、解決を図る問題解決的な学習を一層充実させること。 | 保健体育 | 1. 保健体育科における目標及び単元や内容のまとまりを見通した指導内容の明確化と指導と評価の一体化 2. 生徒の学習状況を正確に把握し、個に応じた支援を行うための手立ての工夫 |
| 体育 | 1. 豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力をバランスよく育成できるよう、単元や内容のまとまり等を見通した「指導と評価の計画」を作成すること。 2. 「めあて」に沿った「振り返り」がなされるよう、「ねらい」と「めあて」「課題」「活動」「まとめ」「振り返り」に一貫性のある授業を行うこと。 | 技術・家庭 | 1. 教科の目標の実現を目指し、育成する「資質・能力」を踏まえ、３学年間を見通した題材の指導計画（評価計画を含む）を作成すること。 2. 題材のまとまりの中で、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、見方・考え方を働かせ、新大分スタンダードを踏まえた問題解決的な学習を一層充実させること。また、学習指導案に「C努力を要する状況」の生徒に対する具体的な手立てを記載すること。 |
| 道徳 | ①指導の意図（主題設定の理由）を明確にした中心発問を設定し、発問構成を考えること。  ②評価については、道徳科の目標にある学習活動に基づき、期待する児童の発言や記述等から、具体的な姿を見取る方法を工夫すること。 | 道徳 | ①指導の意図（主題設定の理由）を明確にした中心発問を設定し、発問構成を考えること。  ②評価については、道徳科の目標にある学習活動に基づき、期待する生徒の発言や記述等から、具体的な姿を見取る方法を工夫すること。 |
| 外国語  活動・  外国語 | 1. 目指す資質・能力の育成に向けた単元の指導計画作成と学習評価の充実 2. 小学校と中学校の学びをつなぐ外国語教育の推進 | 外国語 | 1. 目指す資質・能力の育成に向けた単元の指導計画作成と学習評価の充実 2. 小学校と中学校の学びをつなぐ外国語教育の推進 |
| 総合 | 1. 目指す資質・能力を明確にした上で、探究的な学習の過程が発展的に繰り返されるようにするため、特に「課題の設定」を工夫して指導計画を作成すること。 2. 明確にした資質・能力から具体的な評価規準を設定し、学習状況を見取ること。 | 総合 | 1. 目指す資質・能力を明確にした上で、探究的な学習の過程が発展的に繰り返されるようにするため、特に「課題の設定」を工夫して指導計画を作成すること。 2. 明確にした資質・能力から具体的な評価規準を設定し、学習状況を見取ること。 |
| 特別活動 | 1. 特別活動の各活動・学校行事において、学級や学校生活における諸問題への対応や課題解決の仕方などについて、自主的、実践的に学ぶ活動を構成・展開すること。 2. 各学校で定めた評価の観点に基づく「内容のまとまりごとの評価規準」に即して、１単位時間だけでなく活動の事前から事後までの一連の学習過程を多面的・総合的に評価し、学級担任とそれ以外の教師とで連携すること。 | 特別活動 | 1. 特別活動の各活動・学校行事において、学級や学校生活における諸問題への対応や課題解決の仕方などについて、自主的、実践的に学ぶ活動を構成・展開すること。 2. 各学校で定めた評価の観点に基づく「内容のまとまりごとの評価規準」に即して、１単位時間だけでなく活動の事前から事後までの一連の学習過程を多面的・総合的に評価し、学級担任とそれ以外の教師とで連携すること。 |
| 特別支援 | 1. 特別支援学級で自立活動の時間の指導を教育課程に位置付け、指導の充実を図ること。 2. 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成・活用を一層推進すること。 3. 児童生徒の特性を理解し、児童生徒の学びやすさにつながるICTの活用等指導方法の工夫を行うこと。 | 特別支援 | 1. 特別支援学級で自立活動の時間の指導を教育課程に位置付け、指導の充実を図ること。 2. 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成・活用を一層推進すること。 3. 児童生徒の特性を理解し、児童生徒の学びやすさにつながるICTの活用等指導方法の工夫を行うこと。 |